

「街歩き」感覚の買物バスの運行で、商店街への来街者数が増加

柳ヶ瀬商店街振興組合連合会

機関名	柳ヶ瀬商店街振興組合連合会			
所在地	岐阜県岐阜市神田町2丁目2番地 岐阜商工会議所3F			
電話番号	058-262-6261			
地域概要	(1)管内人口	40万人	(2)管内商店街数	7商店街
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数	11商店街	(2)会員数	600商店
	(3)空店舗率	10%	(4)大型店空き店舗数	1店
商店街の種類	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街			

【事業名と実施年度】

平成14年度 駐車場対策事業
総事業費

循環買物バスを運行
30,000千円

【事業実施内容】

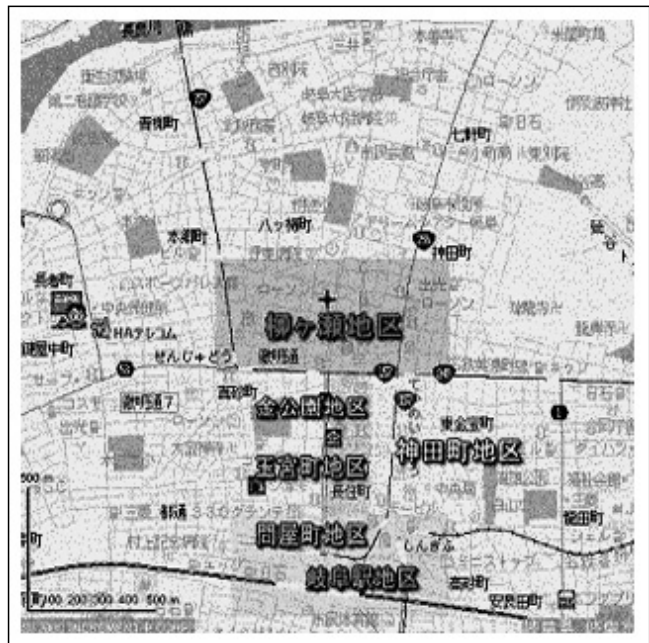
1. 背景

柳ヶ瀬は博多の中洲、札幌のススキノ等、全国的に認知される繁華街の1つとされており、特に夜間飲食関係については高い集密度を誇ってきた。岐阜市内だけでなく、隣接市町村やその外側からの来街もあり、都市型拠点商業地として位置づけられている。しかし、経営不振等による閉店、移転、廃業があり、商店街としての魅力が低下していることは否めない。また、これに追い討ちをかけるように岐阜近鉄百貨店が撤退、長崎屋岐阜店が閉店するなど、近年、商店街を取り巻く環境は厳しいものとなっている。

このような中でも店主たちは、かつての活気と賑わいを維持すべく、消費者に情報や楽しみを提供する商店街への回帰と、新しい顧客獲得を図る販売促進活動、

各種イベントを活発に行っているほか、若い世代へと集客ターゲットの転換を図っている。ハード面においては全蓋アーケード、歩道整備、わくわく広場の映像装置等、来街者を楽しませる大規模な設備がそろっており、これらを活かした多彩な催しを実施している。

このように中心市街地再生への意欲が高い柳ヶ瀬商店街ではあるが、郊外へ向かう消費者の回



柳ヶ瀬地区周辺の地図

帰には切り札がない状況にある。郊外大型店の駐車場が無料であるのに対し、当商店街では駐車料金がかかる（300円～360円/時間）ことが、消費者の来街を阻害していると考えられており、以前から消費者がまちを訪れやすくするための仕掛けづくりが急務となっていた。

そこで、本事業では、岐阜市の玄関口であるJR岐阜駅から徒歩15分に立地する利点を生かし、JR岐阜駅と商店街、商店街と北に位置する住宅街を結ぶ、循環買物バス「柳バス」2台運行させた。

2. 事業内容

(1) 事業概要

中心市街地への集客と来街機能を高めるため、循環買物バス「柳バス」を運行し、利用者の意見を聴取・実態調査を行った。商店街への交通手段の対応について今後の方策を探るため、岐阜県柳ヶ瀬商店街振興組合連合会に行政、専門家、商店街、商店街組合関係者、各関係機関からなる委員会を設置し、事業実施の後、評価・分析を行った。

- ・本バス事業においては「中心市街地内の円滑な移動」を支えること重視し、従って、中心市街地へのアクセスは、既存の交通システムを利用するということに割り切った。そこで、中心市街地の活性化に資するということで、「街歩き」需要に限定して応え、かつ潜在需要を顕在化させるよう図った。



循環買物バス「柳バス」



社内風景
（「買物循環バス運行事業報告書」より）

1) 無料買物循環バスの運行

①実施（運行）期間

平成14年9月28日～平成15年2月28日のうち、正月元旦と2日を除く152日間

②実施（運行）時間 10時30分～20時30分

- ・北ルート（柳ヶ瀬～岐阜公園ルート）1周25分・バス1台30分間隔で21本運行
- ・南ルート（柳ヶ瀬～JR岐阜駅ルート）1周20分・バス2台15分間隔で41本運行

③実施（運行）地域 岐阜市中心市街地

- ・北ルート（柳ヶ瀬～岐阜公園ルート）バス停留目安地19ヶ所・「弥八地藏前」発着
- ・南ルート（柳ヶ瀬～JR岐阜駅ルート）バス停留目安地12ヶ所・「柳ヶ瀬（金華橋通）」発着

2) 無料買物循環バスの運行と合わせたイベントの開催

①発車記念セレモニー

- ・日時 平成14年9月28日 午前10時30分～
- ・場所 柳ヶ瀬わくわく広場ステージ
- ・プログラム 柳ヶ瀬太鼓、理事長あいさつ、来賓祝辞、テープカット、花束贈呈、バス出発

②10万人乗車セレモニー

- ・日時 平成14年12月7日 午後1時30分～
- ・場所 柳ヶ瀬わくわく広場ステージ

③完了報告感謝セレモニー

- ・日時 平成15年2月28日 午後4時～
- ・場所 柳ヶ瀬わくわく広場ステージ
- ・プログラム 岐阜市消防音楽隊、理事長あいさつ、来賓祝辞、感謝の辞

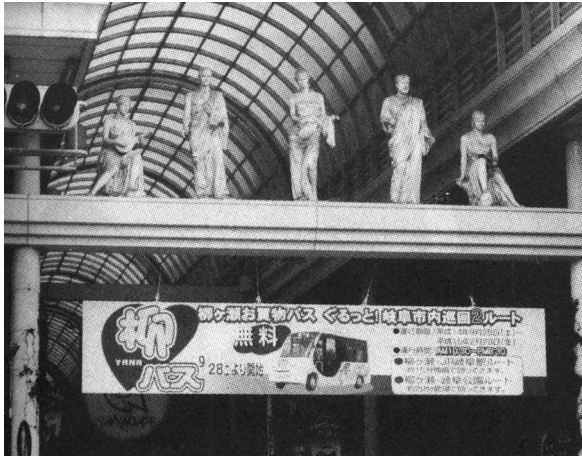
④その他

運行期間内における商店街での恒例イベントにおいても積極的に呼びかけを実施し誘導を図った。

(2) 広報

- ・新聞でのPR
- ・チラシ・看板でのPR
- ・路線マップリーフレットの配布によるPR
- ・商店街振興組合発行機関紙等でのPR
- ・その他各種記事掲載、テレビ取材による放映等、情報の発信に努めた





運行開始を知らせる吊り看板



テープカットの瞬間

(3) 事業実績

- ①輸送実績は152日間の運行で20万人（1日平均1354人）を超え、効果が上がったと評価されよう。
- ②ルート別に見ると、岐阜駅と柳ヶ瀬駅を結ぶ南ルートの方が、北ルートより多く、2倍～3倍の乗車人数となっている。
- ③北ルートは10月、11月に乗車人数が多く、季節変動が見られる。

	10月	11月	12月	1月	2月	合計
北ルート	14,720	12,867	9,367	9,141	9,414	55,509
南ルート	33,963	29,453	30,052	27,241	29,557	150,266
合計	48,683	42,320	39,419	36,382	38,971	205,775
摘要	34日間運行	30日間運行	31日間運行	29日間運行	28日間運行	152日間
1日平均	1,432	1,411	1,272	1,255	1,392	1,354

【効 果】

- (1) 本事業では、岐阜駅と商店街、商店街と北に位置する住宅街を結ぶ循環買物バス「柳バス」2台運行させたが、その結果、乗車代無料で運行した効果もあり、商店街への来街者数は15%ほど増加した。
- (2) ノンステップバスは好評であった。バスの運転手は女性を起用したが、きめ細かなサービスが利用客からも支持された。
- (3) 柳バスの運行はNHK他公共機関が取り上げ、柳ヶ瀬の商店街を広く認識してもらったことの効果は大きい。

【課 題 ・ 反 省 点】

現在ヤングファミリーと呼ばれる年代はマイカー移動なので、なかなか柳バスを利用してもらえず、どうしても高齢者と学生の利用に傾いてしまった。また、平成15年3月で無料の「買い物バス事業」を打ち切り、ワンコインバスとして現在も運行しているが、無料に比べると利用者数が半減してしまった。補助金などで事業費を補填してもらえれば、継続的に運行ができ、もっと根付いたはずである。



15年度はワンコイン（100円）バスとして岐阜バスが運営

【教 訓】

現代はドアtoドア、傘を持たずにショッピングができることが優先される時代となった。楽しく買い物をしてもらうためにも、商店街へのアクセスはさらに便利にしていく必要がある。加えて各店舗で魅力ある商品、店舗づくり、全体で3・5・10年後の商店街づくりの理想を挙げて努力していかなければならない。

【関 連 U R L】

柳ヶ瀬商店街振興組合連合会 <http://www.gifu.e-machi.ne.jp/menu/body/yanagase/>



28日の岐阜市の中心市街地を走行する柳ヶ瀬バス。午前10時、岐阜市目ノ出町

元気な柳ヶ瀬 出発振興

集客狙い 無料バス

岐阜市の中心市街地を無料で循環する「柳ヶ瀬バス」が18日、運送開始した。岐阜市振興組合連合会（会長 野田 隆）が、商店街を活性化させることを目的として、柳ヶ瀬商店街を中心としたルートで無料バスを運行する。柳ヶ瀬商店街の活性化を図る。

2 路線スタート
 運行開始は定員1人から31人までの中型バスが往復で、午前10時から午後8時まで循環運行する。南ルートは柳ヶ瀬からJR岐阜駅方面、北ルートは柳ヶ瀬から岐阜公園方面で、両ルートとも一週十五分から十分ほどで巡回し、乗客はルート別に設置されたバス停で乗降する。

運行初日の18日は、同日目ノ出町の高島屋岐阜店前で発車式が行われ、関係者がテープカットなどを行い、運行スタートを祝った。同バスは来年二月本まで無料の試験運行を行い、その後はワンコイン（100円）バスとして継続運行が検討されている。

〈平成14年9月29日岐阜新聞〉

お買物には無料バス

買物ララララ街中快走

無料循環「柳バス」

主要道路を順調に走る柳（やな）バス＝岐阜市神田町で

お買物には無料バスで、繁華街の活性化を図る。岐阜市の中心市街地を巡回する「柳（やな）バス」の運行が9月18日より、市民に好評だ。岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会が、まちの活性化を期して始めた事業。大船路バスやタクシーなどで混雑する街中を走る小型バスは、デザインもかわいらしい。三台のバスは、車体・車輪・車輪・車輪が青い色で、計二十九のバスは、計二十五分間隔で走る。車いすも、台車乗車OKで、運手はすべて女性という嬉しいサービスも好評を博している。順調なら来春以降、百円でも乗り降りできるワンコインバスとし、運行が伸びるという。気軽な利用のしやすさや、見守る関係者の視線も、街中を快走する柳バス（写真・桂田麻文・編集）

かわいらしいデザインの小型バスが柳ヶ瀬商店街を無料循環している。岐阜市目ノ出町で

〈平成14年10月2日中日新聞〉

運行3週間、乗客3万5000人突破



振興二柳商連理事長（右）の案内で柳バスに乗り込む視察客。21日午後1時15分、岐阜市橋本町、JR岐阜駅前

岐阜市の中心市街地を無料で巡回する「柳（やな）バス」の運行開始から3週間が過ぎ、乗客は3万5000人突破の勢だ。18日は、柳ヶ瀬商店街の活性化を図ることを目的として、柳ヶ瀬商店街を中心としたルートで無料バスを運行する。柳ヶ瀬商店街の活性化を図る。

柳バスは柳ヶ瀬バス、多岐バス、岐阜市振興組合連合会（会長 野田 隆）が、商店街を活性化させることを目的として、柳ヶ瀬商店街を中心としたルートで無料バスを運行する。柳ヶ瀬商店街の活性化を図る。

柳バスは、同連合会が商店街振興の一環として導入。岐阜市目ノ出町で、計は千円を補助している。運行は岐阜バス委託し、来生月大まで無料を継続。その後、岐阜バスが同のワンコインバスとして引き続き運行する。

柳バス快走

案内を務めた岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会（会長 野田 隆）の振興部長は「乗客の増加は、まちの活性化に貢献している」と歓迎している。柳ヶ瀬商店街の活性化を図ることを目的として、柳ヶ瀬商店街を中心としたルートで無料バスを運行する。柳ヶ瀬商店街の活性化を図る。

柳バスは、同連合会が商店街振興の一環として導入。岐阜市目ノ出町で、計は千円を補助している。運行は岐阜バス委託し、来生月大まで無料を継続。その後、岐阜バスが同のワンコインバスとして引き続き運行する。

〈平成14年10月22日岐阜新聞〉